

## 平成 25 年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
桜井市	桜井市立桜井中学校

### 1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

本校では、校務分掌にコミュニティ委員会を設置し、そのメンバーを教頭、コーディネーター、主幹教諭、各校務分掌主任(計12名)とした。また、本校で従来から開かれている地域連携会議、PTA企画委員会においても生徒の実態や今後の事業の取組について説明をし、理解を得た。

これらの会議を通して、本校の重点目標を「自他のいのちを大切にし、優しく、心豊かな生徒の育成」「子どもの規範意識を育て、地域と共につくる安全、安心な学校」とし、その実現のために、人権教育を中心とした取組をすすめること、学力の向上を図ること、規範意識の向上を図ること、自転車通学生の登下校のマナーを改善することを課題とした。

### 2 取組の概要

本校の課題を改善するために、コミュニティ委員会から担当で会議や打ち合わせをくり返した。そして、学力の向上を図る取組として、夏休みの学力補充に卒業生に協力してもらうことにした。生徒にとって親しみのある教育実習生に参加してもらい、1年生と2年生の指導をしてもらった。



学力補充の様子

規範意識の向上を図る取組としては、保護者や地域の方に生徒の活動の様子、実態を見てもらい、ふれあいや心の交流ができるよう取り組んだ。

1年生で行うボランティア体験学習では、保護者に通学路の清掃活動に参加してもらい、生徒とともに通学路を歩き、ゴミを拾った。2年生で行う職場体験学習では、事業所を巡り、生徒の体験している様子を地域の事業所の方とともに見守る活動を行った。また、保護者がプランターへの花植え作業を行い、校内の環境美化に協力をした。さらに、文化祭では、クラフトの部屋を設け、皮を編んでつくるキーホルダーの指導に保護者を中心とした方々に協力してもらった。



文化祭でのクラフト

学校全体としても、地域の方に生徒の様子を見てもらう機会を多くするため、授業参観、

オープンスクールの開催日を増やした。具体的には、年間2回の参観授業（4月、6月）並びに行事（体育大会、文化祭）等を保護者や地域に公開し、年2回（6月、11月）計6日間のオープンスクールを実施した。オープンスクールの度に、多くの地域の民生委員の方々が参観して下さった。また、定期的に放課後の時間に市内巡視、夏祭りが行われた際にも夜の巡視活動を生徒に声をかけながら協力してもらった。

さらに、3月に行われる卒業式をあたたかい雰囲気の中で盛り上げるため、保護者と生徒でモニュメントをつくることなどにも取り組んだ。

自転車通学生の登下校の状態を改善する取組としては、保護者に春と秋の交通安全週間に生徒の登校時に交差点に立ってもらった。さらに、登下校時の交通安全啓発のために看板をつくり通学路に掲示した。



看板設置